

1. 件 名：原燃輸送株式会社による核燃料輸送物設計変更承認申請（NFT-M12B型及びNFT-M4P型）に係るヒアリング（1）
2. 日 時：令和4年11月22日（木）10時00分～10時45分
3. 場 所：原子力規制庁 8階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※はTV会議システムによる出席）：
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出主任安全審査官、真下安全審査専門職
原燃輸送株式会社
設計・開発部長 他5名※
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。
6. その他：
なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制庁の真下です。これから、前年輸送株式会社の核燃料、
0:00:06	輸送物設計変更承認に係る脚設計変更承認申請に係る面談を開始します。まず、不開示情報の発令に注意をしてください。
0:00:15	不開示情報を発言してしまった場合にはその旨を、その場で指摘してください。
0:00:20	また、発令の前には、所属と氏名を述べてから発言を開始してください。
0:00:24	使用しないときのマイクについては、必ず誘致するようにお願いします。
0:00:31	それでは、規制庁より、今回申請のありました、
0:00:37	N f T T M4 P A M12 P の大きさについて、
0:00:42	少し申請内容についてちょっと
0:00:45	お伝えしたいことがありますので、お願いします。はい、規制庁の方からお願いします
0:00:50	いいですかね。はい。大丈夫です。すいません。おはようございます。ホデでございます。
0:00:56	おはようございます。おはようございます。
0:01:01	基本的にM4 P M12 B とともに、経年変化のところろう、
0:01:10	についてですね、いくつかご確認ということで打ち合わせというか今回打ち合わせを持ちたいということでやっています。
0:01:25	どういうお考えかということをお話いただいた上で、必要であれば、申請書の修正とかということをお考えいただきたいと思います。
0:01:37	よろしいでしょうか。
0:01:41	はい、結構でございます。
0:01:44	藤。
0:01:45	一応今回の変更内容っていうのは、その規則基準、
0:01:52	法令上の改正に伴って経年変化のところを、3条3項に対する適合性の説明の絵でどのように考えたかと、いうことのご説明を追加されたと。
0:02:06	いう認識をしておりますけども、それで他の下、まず、他の解析については、変更はないと、特にこちらでも確認しましたけれども、特に
0:02:20	特に主要な技術基準適合性に対するその根拠となるところとかというものについては変更がないというふうに理解しているんですけども、その理解で間違いないでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:02:39	はい。現実マツモトでございますその理解で間違いありません。
0:02:44	経年変化のところでは考慮が必要なものについては、考慮した結果を江藤 A S R の本文の方で記載してございます。
0:02:56	はい。適用性については問題が生じてございません。その通りで、その理解で結構でございます。
0:03:03	であれば、幾つかそれを前提といたしまして確認させていただきたいと思っております。
0:03:11	特に炉小 F のところの内容を、が今回、もうそこが追加になったと、いうことで、
0:03:21	時さ、まず記載の、
0:03:24	説明の仕方なんですけれども、それぞれ
0:03:30	輸送容器の構成部品及びとに対して因子として、熱と放射線と各変化で必要なものについては疲労を考えたと。
0:03:42	いうふうに理解をいたしました。で、ここです、影響がないと判断している構成部品です、それぞれ例えば、
0:03:53	熱の熱の影響による、例えばステンレス高の影響とかです、そういうものについては、結論については、確かに、これまでの過去の申請で
0:04:06	申請案件で、申請書上技術上の基準に適合していることについて経年変化の影響はないということで、多分それを踏襲して記載された、ということだというふうに認識しておりますけれども、
0:04:21	実際はどうかっていうことは、経年変化の影響についてと、それで、
0:04:27	経年変化の影響があるものであればその今度はそのろ紙を A から E に飛んでいくわけですねこれね、ということであればこの結論というのは経年変化の影響について、技術上の基準に対する適合性を確認する上で、
0:04:42	考慮する必要はないと、今一応、資金のね、申請案件でも多分こういう記載になってると思っております。これも、
0:04:52	庁内でいろいろ議論をして、この結論はこのようにまずい、考慮する必要はあるのかなというふうなところを、しっかりここで止めていうと、
0:05:06	ということで今後いろいろ申請案件に対して、ご指導、指導というか、こちら側から説明させていただくというふうにしておりますので、
0:05:17	ここは今申しあげましたような表現で、ちょっと
0:05:23	修正していただければと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:05:27	最初、全般ですけど、一応これがまず1個目です。
0:05:31	で、二つ目なんですけども、
0:05:34	Oリングのことについて
0:05:38	いろんな、
0:05:39	いくつかのこれまでの申請案件では、他、対象外と、いうふうなことで最初にスクリーニングをかけてるという事案が、ほとんどです。で、これを踏襲されたと、ということなん。
0:05:56	だと思えますけれども、その理由として定期点検及び発送前検査において、交換が必要となった場合には、
0:06:07	都度、新品と交換または実施上位機関で、1年に1回以上の頻度を超える交換というふうなことを、いうふうなことを理由として記載いただいていますけれども、これは
0:06:21	何より、これ、経年変化とかその劣化ということ意識して、だからこういうふうな措置をとるというふうに理解できると思います。1回こっきりであれば1回こっきりやということで発送前検査で、
0:06:35	確認して、性能もOKやねということではいたしましよということまで郵送が終わればはい終わりということで、考慮はいらんのかなということは、考慮の対象外としてもいいのかなと。
0:06:49	いうふうには考えられますけども、このような、結構、繰り返しでね、使用されるとか、結構いろんな措置を取った上でやるということは、
0:07:00	これ考えられてることではないかと、いうふうに思います。
0:07:04	だから、要は、例えば、こういうふうないろんな影響があると。
0:07:10	例えば熱だったら、熱解析のところ、最高使用温度だんどですよ、これはこれこれぐらいの期間ですと、これこれに対して、例えば1年以内に交換するから、
0:07:23	考慮する必要はないとかですね、放射線についても、そのリングの材料自身、 XXXXXXXXXX かな、これに対してどうなのかとか、
0:07:34	例えば、
0:07:36	負担ところですからそんな強い所、中性子照射を浴びるとは思いませんから、それに対して、しかも非常に短い期間、1年としたとしてもですね、今の
0:07:47	他の物の60年なり何なりに比べれば、蓋開けた訳二口まで落ちますんで、そういうものに対して、考慮する必要がないとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:07:59	当然価格変化はどっかで伊澤猪瀬接触の話をされてて、そこで全然問題ないというふうなことを引用するなり何なりしてですね問題ない設計にしていると。
0:08:09	いうふうなことがいえるのではないかなと思います。
0:08:13	で、とにかく1回こっきで生いやと思えるんですけどもこのような措置をいろいろ並べていただいて、だから考慮する必要はないというところを、
0:08:23	ではちょっとどうかなというふうに思うので、少し内容を検討していただいた上で、修正が必要であれば修正していただきたいと思います。
0:08:34	よろしいですか。
0:08:37	3番目ですけれども、
0:08:39	疲労で、昨今の申請案件をいろいろ参照いただいと、いうふうに考えます。で、
0:08:49	ここで繰り返し回数について60年間の2、年間10回と、1回の取り扱いとして20回を定めているということで、
0:09:01	申請では、保守側と設定したと、いうふうにあるんですけども、どのような保守性なんですかと。
0:09:09	例えば、予想される回数はこうだから、それにそれにに基づき、トータル的な、これこれを何回と設定して評価を行うと。
0:09:20	というような形でどうですかね。最初、実際に勘案想定しているもの、それに対して実際の計算条件、解析条件として用いているもの、そこの
0:09:34	そこで、そこで考慮した保守性というものを、明確に書いていただきたいと思います。
0:09:40	要は、年間10回位とか考案、年間10回の想定っていうのは多分相当もうバリバリの保守性があると思うんですけども、
0:09:51	であれば、実際はこの程度だけでも10回を想定してとかですねいう言い方もできるのではないかなと思います。だからその辺を目、明記していただいた上で、ちゃんと疲労のことをちゃんと殊、真面目っておかしいですけども、
0:10:06	考えてますよと、いうふうな説明をに、
0:10:11	をしていただければと考えております。
0:10:18	で、
0:10:19	同じく、疲労のところではこれは記載の仕方なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:10:25	いわゆる疲労を評価して、亀裂破損のないこと、疲労による解析の結果は、疲労による破壊が起こらないことっていうことは、
0:10:39	5章へのところで、述べるべき内容というふうに考えてます多分実際そうだと思うんですけども、ろ紙をFでは、例えばそういう影響があるから、
0:10:49	保守側に何回評価をして、例えば疲労評価を行い破損し、その破損の疲労の影響を評価するとかですね、破損しないことを確認するとかというところまでで、
0:11:02	求めていただければいいのではないかと考えております。
0:11:08	だから、要は炉S H O E Iの役割と炉所AからEの役割と炉小Fの説明の役割ということをよく、もう一度、
0:11:20	これまでの例えば機構とかですねその辺の審査書の内容も見ていただければと思うんですけども、明確にどういうことをどのように考慮する。
0:11:34	影響はないからここで切るというところまでが炉小Fの説明。
0:11:39	そのあとは、漏えいから伊井に任せるということになるのかと考えております。ですから、ちょっとその辺で表現がでこぼこしていないかどうかということのご確認をお願いしたいと思います。
0:11:56	で、
0:11:58	いいですかね5番目ですけども、
0:12:00	アルミニウム合金の説明なんですけれども、バスケットの電熱電通機能を持つなんかプレートだと思えますけれども、
0:12:11	融点を下回ることが何か書いてあるんですけど、説明では、
0:12:17	税抜き融点を下回ることから、例えば、何が起こらないと、いうことを書いていただいて、だから電熱器性能に影響はないと。
0:12:28	いうふうな説明、例えば、
0:12:31	融点融点と直接融点より低いということと伝熱性能が、影響がないということは、直接は結びつかないと思うんですね。
0:12:40	熱的な環境はこうですよ、それは融点より低いですってというのがまず環境があって、だからどうなんです。だから影響は、
0:12:48	影響は、熱的な影響はなく、例えば技術上の基準で熱解析聞いとかで、その評価で考慮する必要はないと、というふうな形になると思うんで、
0:12:59	その辺、要は説明の順序をよくもう一度見直していただければと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:13:09	多分、私、こちらで確認した範囲では多分アルミニウム合金ぐらいかなあとという気はしています。
0:13:17	だからその辺で少し後家
0:13:23	説明をご検討いただく、ちょっともう1回読み直してみて、適切かどうかということのご報告にお願いしたいと思います。
0:13:34	あと6番目でレジンの熱の影響なんですけども、
0:13:39	最初ぱっと読んだ、影響があるのかないのかこれ全然わかんねえなっていう気が、ちょっとこちらでしました。
0:13:46	で、現状の説明であれば、経年変化の影響について技術上の基準に適合する。
0:13:56	ことを確認する上で、その影響を考慮する必要はないというのが最終的な結論じゃないかと。
0:14:04	安全解析書を読む範囲で
0:14:08	こちら、こちらはそういう認識をいたしました。
0:14:12	というのは、非常に
0:14:17	要は、我々として最終的に確認したいところ者解析においては、最大線量当量率、
0:14:26	率なり最大線量当量当量率を求めるための、ここで言う、例えばプルトニウム各同位体のいわゆるラージA1ですかね。
0:14:39	ラージAが、
0:14:41	の値、要は線量当量率基準。
0:14:45	何とかを考慮移行する各種考慮の、線量当量率基準を、に相当する、各プルトニウム同位体量だと思んですけど、
0:14:57	そこの算定において、今、遮へい解析では、冒頭に5件を確認させていただいた通り、変更はないように思えました。
0:15:09	で、なので要はもう結果としてはこれ関係ないっていうのがまず結論ではないかとこちらでは理解をしています。
0:15:19	で、そういうことで
0:15:24	具体的にじゃあどうすりゃいいのっていうことなんですけれども、例えばレジのところっていうのは、例えば
0:15:35	熱と書くかな。要は、水の有利でどうだこうだということが、考えられるけれども、そういうリンとの出漁減損を考慮したについて影響を評価した結果と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:15:48	各云々であるから、最大線量当量率を評価する上で、考慮する必要はないというふうなロジックになるのではないかなと考えています。
0:15:59	従いまして今、炉小dにですねの附属書類のところで、かつての原燃輸送の申請案件の
0:16:13	レジンが減損した時にどうかというふうなところが、附属書類で付けられてるのと同じフォーマットで、ご説明されていると認識しておりますけれども、
0:16:26	このレジン、
0:16:29	想定される、1%ですかね1%の重量現存120度で1%という、
0:16:36	ところの、その影響については、炉所Fでその影響について評価した結果、
0:16:46	導いたことが、遮へい解析しなくていいんだなということだと思imasるので、その辺、だから、ろ紙をFに移すなりですね、説明の、やっぱりここの説明の順序、ロジックをよく踏まえて
0:17:01	どういうふうに持っていったらいいのかということをちょっとお考えいただければと思います。
0:17:09	次にやっば見今度水の話なんですけど、プロフィールグリグリコール水についてですけれども、
0:17:17	これ熱放射線の影響について密度を保守的に設定することにより考慮するという説明は、
0:17:26	であるけれども、もしそうならばですね
0:17:31	現在のPG水的设计温度に相当する密度にさらに0.2%の減損を考慮するとかですね、いわゆる、
0:17:42	要はさらにオンするような形で考慮してれば考慮してんだねっていうことになるのではないかと思います。
0:17:48	110度の温度設定っていうことは、もともと熱解析でられた温度に対して、設計温度として110度にしましたっていうことだけだと思うんですね。
0:17:58	特に、経年変化の影響を考慮した過程とはちょっと相違するのではないかとということで、ここは要は申請書を読んでちょっと違和感を
0:18:09	違和感があると認識しました。
0:18:12	だから従って例えば0.2%の出現損が予想されるが線量当量率の影響を無視し得ることからとか、ある程度根拠を示していただいた上で、
0:18:25	どうだということだと思imas。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:18:27	さらに言えば、その質量減損云々自身が、要はこの経年変化のところにおいては、どういう設計がこれはもうその通りだと思ってるんですけども、
0:18:39	当日は空間にある富樫重要現象はない。出漁件数はないと、いうふうな、という説明だけでも、何か考えて、こういうふうに書いておこうかなというふうにしちちょっと見えなかったんで、
0:18:52	なおのことその設計ですすねそういうふうには飛んでいく可能性があるんであればね、飛んでいくということですからね、例えばレジンのように、遊離してからですすね実際その
0:19:04	塊は均一っていうわけじゃなくて水の中にいるわけですよ結局ね、すべてのその考慮すべき減元素例えば水素原子にしてもそこにおけるわけですよ結局であれば、
0:19:16	特にこのことについてはあまりその現存の話をする必要もないのではないかとこのように考えられます。
0:19:27	で、
0:19:29	同じく P G 水の話なんですけども、熱の影響として、分解生成物の発生とか、例えば放射線照射の影響による、水、
0:19:40	水等の、みずからの分解生成物の影響が説明されているんですけども、これは本当はこの説明ではないですよ。
0:19:52	要はその外部該当なりですすね、ないどうですか。要は閉じた空間をつくらせている形成するものが、腐食に対して影響がないという、
0:20:03	腐食の影響を受けることはない。
0:20:06	本来は、これはステンレス高の化学変化のところに記載されるべき内容だと、例えば P G 水の分解生成物が考えられるけども、それでレベルはこうで、
0:20:17	例えば 0.0. 1mm以下っていうようなことが書かれていたと思うんですけども、これについては、何の何、何かあったらステンレス高に与える影響だと考えます。
0:20:30	ここはだから特にどうだって、例えばこれで遮へい性能がさっきの質量減損とか何とかってところ、そういうところにさ、P G 水の方は、
0:20:41	降格してもいいんじゃないかなと思います。
0:20:44	むしろ、ステンレス行のところにその分解生成物等が間が発生することが考えられるけれども、例えば、例えば実際の設計温度を超える温度でやったら、やっても全然問題ないよと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:20:57	いうふうなところを、説明いただくのがいいのではないかと。数にすべきではないかと、いうふうに考えます。
0:21:09	規制庁の増本です。申請書のロシアにある、
0:21:15	支店別の昇給量は 0.1mm 以下、そうそう。
0:21:19	の記載って明らかにそれはステンレスの色の話をしているので、P G 水の経年変化について、
0:21:26	書いてある、谷岡くんじゃなくて、それはステンレスのところと書くじゃないかという話ですので、
0:21:33	ピース自体はね、放射線部から熱分解して遮へい精度が落ちるだとかそういう話があるのであればそれはビジネスで考えて、
0:21:43	すいません、補足です。
0:21:46	はい。
0:21:47	あと、
0:21:50	これもどっかに出てくる話かもしれませんが、P G 水の熱分解、
0:21:55	他による生成物っていうのは、もうこれは水の中にいるということでしょうか。ガス成分みたいなものはないのかというところで、例えば出ても、ごくわずかであるから関係ないとか、
0:22:08	影響があるんだったら、例えばそれで、なんだけども、申せ、それこそ設計圧力で C A Q 云々でこう考えて評価してるから問題ないとかですね、
0:22:20	要は、技術基準適合してることにに対して評価する、考慮する必要がないとかですね、そういうふうなことになるのではないかと、いうふうに考えております。
0:22:32	あと、最後にちょっと木材なんですけども、特にこれは四国電力の申請案件以降のそれぞれこれ原燃輸送の方もいろいろ協力した上で、
0:22:47	業界全体の見解ということで共通見解が書かれてるんですけども、
0:22:53	要は、
0:22:56	その前提っていうのは解析非常に温度が高いっちゃうのがあるんですね。
0:23:00	多分、熱解析から見ると 100 とか 90 何度っていうのが最高温度だと思うんだけど、実際、実際のものっていうのは、例えば今までの御社、N、原燃輸送の、例えば N T キャスクの
0:23:14	発送前における確認の結果とか何とかとかそれに基づく評価をやってみたら、なかなかこんなもんだったから、大したことないよねと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:23:24	というのが多分、ということで金要は共通見解っていうのは繋がってくると思うので、例えば実際、保守的な解析や熱解析に示した通り最高温度はこの程度ですけれども、という断りは何か入れておく必要があるのではないかと思います。
0:23:45	で、
0:23:46	全般にどうですかに入ったところはちょっと、楨になったところというところで、
0:23:57	例えば、
0:23:59	ちょっと待ってくださいね。ええ。
0:24:01	と阿藤は、
0:24:03	例えば、
0:24:14	例えばボロンステンレスのお花Cで
0:24:18	言ってしまうと、輸送容器の内部で使用されることから日光や雨水にさらされる環境がないということで影響はないでいいんじゃないかと。
0:24:28	仮にレジに含有される水有利があってもっていうふうなことも書いてあるんですけども、そういう説明が本当に今回、この要は経年変化の影響評価をする上で、
0:24:41	必要な情報なのか、まあ悪い言い方をすると、蛇足のような説明なのかということをもう1回、
0:24:50	直接その炉SHOEIから、に繋がる前提条件。
0:24:56	経年変化を考慮、具体的な考慮上考慮する上での前提条件を判断する上で必要な情報なのかどうかということをもう1回中で吟味いただければと思います。
0:25:11	一応、こちらの方で
0:25:15	等、気づきというか、
0:25:18	どうなのかなと、説明の仕方とかっていうことで、基本的におっしゃってる内容自身は、申請書の中でおっしゃってる内容っていうのは、理解はできます。
0:25:30	ただ、説明をしていると何が重要で何を気にして何を評価しているのかかっていうことが、材料はいっぱい書いてあるんですけども、その辺のロジックの
0:25:42	繋がりますね、そういうところがちゃんと繋がってるかどうかというところで、少し疑問に思ったんで今回、事実確認をさせていただいた次第です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:25:56	生徒の方からは一応以上です。
0:26:03	はい。
0:26:05	ありがとうございますちょっといただいたコメントをですねもう一度よく考えて不足とですね。
0:26:14	さしていただきたいというふうに思っています。
0:26:21	規制庁のマシモですけれども、今実験、これからの説明
0:26:26	を行って、
0:26:28	これからどうするというのは、
0:26:32	ここで説明で一番、
0:26:34	いや説明はいいけど、
0:26:37	要は、
0:26:39	いやこういう考え方なんですよっていうことを、今、だから今記載してる内容っていうことは、こういうことを踏まえて書いてるんだから、
0:26:50	というふうなことがあれば、
0:26:55	一方的にこちらから申請書を確認させていただいて、どうなのかなというふうに思ったことを今お聞きしたわけですから、いやいや、そういうことじゃないんだよっていうことがあればそれはもちろん、
0:27:09	協議する内容、協議、協議する必要があると思いますので、そういう点があれば、何かご説明があればしていただければと思います。
0:27:25	うん。うん。
0:27:27	原燃輸送ヤタです。えっとですね。
0:27:31	まず一つだけ先に確認させていただきたいんですけど、
0:27:36	7番目にいただいたプロフィールリコール水溶液の減損を考慮したときの遮へい解析、この時の保守性を、
0:27:46	温度を切り上げてる範疇に含まれるから、評価の必要はないみたいな説明を今現状のSR出してますんですが、野辺さんのご意見では、
0:27:57	その設計の、
0:28:00	温度なり密度があってそれに、
0:28:03	下、劣化の現存量を加味した評価がなされるべきだと。うん。じゃないかなというふうに思いました。で、
0:28:13	例えばその0.2、0.2%だけ何なりっていうことが本当に必要なのかというところも、要は閉じ込めていると言っている説明をしているんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:28:25	何か保守性っていう言葉で、考慮して、だけど、またそれは 110 度の中に入ってるよったら、何ん何なのという感じなんですよ、読んでたら。
0:28:38	であれば、もう堂々とそこでこういう、こういう設計であるから、閉じ込められてるわけだし、P G 水は液体だって書いてあるわけですよ。
0:28:50	要は、僕にもなら吹っ飛んしないと、いうふうなことも記載されてるわけですから、そこである程度その場、諸使用状態における P G 水のね、状態っていうのは説明されてるわけですよ。
0:29:03	であればその間、それを踏まえて、
0:29:07	設計設計がどうなってるかったら当然閉じ込められてるわけですから、
0:29:13	そこまでで、それ以上のことを言う所が本当にあるのかなというような感じは、無理やり、経年変化なんか作ってあげようというふうにしかちょっと見えなかったんでね。
0:29:41	一つ、うん、言わしてちょっと、もう一つちょっと言わせてください。
0:29:47	要はね、
0:29:49	経年変化で影響があるかないかっていう話は、表を判断する上で、何かあったら材料が、
0:29:58	材料が変わらないという、その材料のポテンシャルを持ってるか。
0:30:03	うん。はたまたその温度とか照射量とか、要は環境置いたときに、そういうことがないかっていうか一つと、設計としてそれを阻害するようは何か。
0:30:14	変更なんかこう劣化させる要因があるんだけど、
0:30:18	よくある話ですね、例えば、兼用キャスクだったら、中を不活性雰囲気にしてるから、設計であるからっていうことであれば、そこでもう切ってるわけですね。
0:30:29	だから、そういう設計的な要因と、設計的な要因と採用した材料の実力の要因っていうのが多分あると思うんですね。ですから、その辺がちゃんと、
0:30:42	特に熱と熱等、どちら、放射線については、材料の実力だと思いますし、化学的変化っていうのは、
0:30:54	もちろん腐食しにくいという話もありますし、設計が設計でちゃんと工夫されてるんで、そういうことは阻害されて問題ないっていうことがあると思うんですね。
0:31:07	ですから、その辺よく、その要因が要因に対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:31:13	要は、
0:31:14	技術力抜群なのか、設計抜群なのかということをよく、みずから設計見てですね判断していただいて説明いただければと思います。
0:31:30	6月。
0:31:34	あんまり、
0:31:34	ちょっと幻想ヤタです。ちょっと1度考え方を整理したいと思いますのでいいかな。
0:31:42	ただ、それをいきなりSRに反映するのか、いった何かこここんな案とか、別の御説明資料みたいなものを用意した方がいいのかとか、だから、
0:31:57	考え方を示していただいて、修正の要否とかっていうことで、1強だ、迷うと判断されるのであれば、様と判断されるならばこういう方針でやりたいと。
0:32:09	いうことを言っていただければいいんじゃないかと思います。
0:32:15	マツモトですけど、
0:32:17	本日いただいたコメントに対して我々の考え方を改めて、それが最終的に今本田さんがおっしゃったような修正が要るかじゃないかっていうような、
0:32:27	そういうような、そのような整理をして、ご説明するという形で結構だと思います。
0:32:36	恐らくはなんか計算しろとかね、そういうふうなところは、多分これないと思うんですね。材料は十分に要は今の申請書の中で、散らばってると思いますんで、
0:32:47	いかにやればすぐにああそうだねっていうふうに入ってくるかと、いうふうなところではないかなと思います。
0:32:55	ですから以前行政相談等でも、何かお話をさせていただいているかと思うんですけども、要は、
0:33:05	例えば、今回は、4電の申請案件兼用キャスクの申請案件をベースにして、要は、
0:33:15	M4PとかM12Bへカスタマイズして持ってったって話はあるんですけども、やはり4例の申請からまたいくつか申請が出て、それごとにやっばこちらもいろいろこう、
0:33:28	ああでもないこうでもないっていう話は、いろいろしてきてますので、その辺でよく

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:33:35	どうですかね、ホームページ等ご確認いただいた上で、今小、規制庁側がどういうことを言えば、うんと言うかと。
0:33:43	いうふうなことを、よくちょっと吟味していただければと思います。
0:33:51	はい。松本です。
0:33:55	一応、おっしゃる通り4電さんの例とかですね資金例もですね
0:34:01	見せて、見てですね見ていた形でまとめてはいるんですが、そちらの方でもいろんな議論が位田でされてるということなので、もう一度確認して、我々の考え方を整理した上で、
0:34:17	ご説明さしていただきます。はい。
0:34:22	いいですか。
0:34:29	何かあります。この間ちょっと、そうですね。すみません。規制庁の西坂でございます。
0:34:35	本日主に当方のホデの方から幾つか指摘事項させていただきましたが、ちょっと簡単な例として、
0:34:44	例えば申請書の
0:34:47	P D F で 390 枚目にバスケットで使われるアルミニウム合金の経年変化の考慮に係る評価、これが熱と放射線照射科学と。
0:34:58	三つを切り口で書かれてるわけなんですけど、
0:35:02	ちょっとこちら拝見しますと、冒頭の方で、
0:35:05	何か多い伝熱性能に効果された、考慮評価となっておりますけど、
0:35:11	そのあとの結びの言葉とか、次につなげる言葉がですね、ちょっとどうも何か、そこはちょっと関係ない部分も出てきたりとかして、ちょっとこれも先ほど全般のところでも申した通り、
0:35:25	やはりその何包括、軸を置いて、こういったロジックで、こういった判断ができるかって言えば、考慮する必要がないとか、影響、
0:35:35	は軽微であるとか、ちょっとそういった書き方にちょっとしていただけると助かる。
0:35:41	共同なんか他の観点の研究とか、効果的な記載が必要であればそこはしていただいた方がいい。
0:35:48	あとその他、これはちょっと細かい話なんですけど、ちょっと申請書全般にわたりまして、何かマスキングの箇所、これ当然企業機密に当たるような材料名とか、
0:36:01	数値的なものを作っておくのは当然
0:36:03	事情があればマスキングしていただいて構わないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:36:07	例えば、ちょっとこれからちょっと、本マスクングされてる情報を申し上げますが、
0:36:13	例えば輸送架台を使用してですとか、引用してる文献日本機械学会、日本使用済み燃料貯蔵施設規格、金属構造規格、
0:36:25	そういったものも何かマスクングされておるので、そういったものを本当にマッチングが必要かどうか、今一度ちょっと精査していただけたら。
0:36:33	私の方から以上です。
0:36:43	はいありがとうございます。ホデさん、いただいたコメントと相違同じだと思いますので当初Fの書き方だと思っています。
0:36:55	なのでもう一度考えて検討したいと思います。あと、ご指摘いただいたマスクングの、
0:37:05	ところですねもう一度見直してみますので、見直します。はい。すみません。以上です。
0:37:13	■■■■■
0:37:14	そうです。
0:37:16	すみません。
0:37:17	N-Sウミノですすみません、ちょっと先ほどヒアリングの中でですねゴムの材質数だけちょっと
0:37:24	マスクング対象でしたので、岡井時は、
0:37:29	開けていただけると幸いです。はい、了解。■■■■■というものを、
0:37:34	わかりません。
0:37:36	すみません。
0:37:42	あと、市長の真下ですけれども、
0:37:44	これは先ほどまで、
0:37:48	議論していただいた内容踏まえてですね、多分、
0:37:53	これ輸送の方から説明があると思うんですけど、
0:37:57	その後、
0:37:58	次ご説明できそうでしょうか、スケジュール感を伺いたい。
0:38:04	どうですか。今回の事業、
0:38:07	踏まえて、
0:38:13	11月中化することが11月中なのかそれとも年内。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:38:18	教えていただければと。
0:38:23	松元です。まず顕熱マツモトでございまして11月中中に、
0:38:31	ですね、目途に、11月の最後の週を目途にですね、ジャスティムっていうか、12月の頭に入ってますけど、その週を目途に、
0:38:42	回答をご用意したいと思います。
0:38:45	正井。
0:38:47	規制庁増子です。はい、ありがとうございます。
0:38:49	規制庁のニッサカです。ちょっと細かい話ですが、回答の仕方という何かその文書とかメールとかそういった資料提出とか、今回のヒアリング形式であるか、どちらになりそうでしょうか。
0:39:05	し、マツモトですけども、先ほど申し上げたように資料はまとめたいと思、思いますいただいたコメントに対して、我々の
0:39:16	整理ということで、それをクリー。
0:39:19	佐橋。
0:39:21	さしていただいた上で、
0:39:24	このヒアリングっていう形式かなと思ってますけども、
0:39:28	何か相違ございますでしょうか。
0:39:31	つまり、いわゆる送っていただく提出いただく時期が、11月、最後、週12月頭ぐらいになるという理解でよろしいでしょうか。
0:39:43	そうですねはい。ですがそのあとあれですかすみません等、
0:39:48	我々がお送りした後、所定の時間が必要だというご意見でしょうか今、
0:40:00	おそらく送っていただいて質疑、ヒアリングで大体あるもの。
0:40:04	1.1、γなのですけれども、もし送っていただけるのであれば、いうぐらい。
0:40:13	言わないと事業費とか、はい。はい。いえばですね、私たちも、そうされてすぐ減るってのはちょっと。はい。
0:40:22	いや、こちらでも考えた上で、
0:40:27	もうすぐ資料されるなれますよ。
0:40:30	こちらの勝手な都合やらさせていただきますと、
0:40:35	水曜日までに、もし遅れるのであれば、送っていただいて、木曜日にできれば、もう、
0:40:46	大きい件あるとは思ってないんですねこれ実は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:40:52	ですからこちらとしても、いろいろと、要は確認をどんどん進めていきたいと考えてますので、
0:41:03	ある程度のスピードを持ってやっていただければ、
0:41:06	必ずしもその
0:41:08	要はし、逆に申請書その文を、文言変えていただくっていうこと等よりも、考え方がどうなのかこちらと、原燃輸送の方の考え方が、
0:41:21	ベクトルが合ってるのかどうかっていうことが大事だと思いますので、そういう観点でさっき言いましたように、
0:41:33	やつが九つか言いましたけれども、鴻巣にそれぞれに対して、
0:41:41	修正、修正しますとかしませんという修正する場合は、何ちゃらしますとか、
0:41:47	特にレジのところは、aであれば例えば、熱か、後者へ同床異夢では、ここ、こういうことで、こういうふうなロジックで説明し、します。こういうことを考えてますんで、
0:42:01	路上論理は、だから、全然触りませんとか、何か一つの例で言いますとですね、例えばそういうふうなことを、がわかるような資料であればいいんではないかなと思います。
0:42:16	はい松本です。織田さんありがとうございました。そしたらですね今みたいなの、の考え方を整理させていただいて、来週のの今月中にはですね、
0:42:26	お出しして、ご覧いただいてですねまた日や、その週の終わりぐらいにヒアリングしできればですねさせていただくような、
0:42:37	スケジュールリングでやらせていただきます。よろしく願いいたします。よろしく願いいたしますはい。
0:42:48	はい。いいですか。はい。
0:42:51	はい。規制庁の真下です。それでは本日のヒアリング、これで終了したいと思います。最後に、何か根井宗の方から何かありますか。
0:43:04	特にございません。はい。
0:43:06	規制庁の真下です。はい、わかりました。では本日のヒアリングはこれで終了したいと思います。本日はありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。